

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	3
学校名	富山県立桜井高等学校

学校の現状と課題	本校では、これまでも「行学一如」の伝統的精神に基づき、「自主・協和・創造」の校訓のもと、可能性への挑戦を続け、社会に貢献できる人材育成に向けた教育活動を推進している。 しかしながら、今後地域や社会が大きく変化する中で、生徒一人一人がその変化と向き合い、自ら進んで学び考える意欲や態度等を育むためには、黒部市唯一の高校としての特性を生かし、地域と連携した「総合的な探究の時間」の充実を図るなど、新学習指導要領の趣旨を踏まえた取組を推進することが課題となっている。	
テーマ(特色)	地域と連携した課題解決学習の推進によるキャリア教育の充実	
設定した「テーマ」の達成状況	年度当初から年間を通して、黒部市や関係機関・企業、富山大学等と連携することにより、体験的な取組の充実を図ることができた。また、活動の経過や成果を地域に公開する機会を持つことで、助言を得ながらプロジェクトを進めることができ、生徒の学習の深まりにつながった。	
実施内容 (具体的に記入する)	1 総合的な探究の時間及び課題研究において、地域課題解決型のプロジェクト学習を推進した。 2 地域の企業や事業所訪問、スペシャリストとの対話等体験的な取組を活用しながら、キャリア教育を推進した。 3 カリキュラム・マネジメントを推進するために、職員研修会を開催し、校内組織による研究を進めた。 4 教員研修セミナーの受講や、ICTの利活用等に関する校内研修会を開催し、教員の指導力向上を図った。	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	・年間を通して、地元黒部市や関係企業・団体、富山大学等と連携した課題解決学習に取り組むことにより、課題がより明確になるとともに、実践につなげることができた。 ・キャリア教育の一環として、地元企業に加えて教員や公務員の職場訪問を取り入れたことで、様々な仕事や地域課題について学習課題を設定できた。 ・地域の一員として本校が取り組むことができる課題について、地域の企業・団体等との意見・情報交換を行うことができた。	
対象者(学年・人数など)	全校生徒(普通科・土木科・生活環境科 計560名)・全教職員	
実施実績	4月	総合的な探究の時間及び課題研究を核とした探究的な取組の推進(～3月)(1～3年全学科) HRIにおける進路研究・各学科におけるキャリア教育の実践(～3月)(1～3年全学科) 校内組織におけるカリキュラム・マネジメントに関する研究の推進(～3月)(教員)
	5月	探究活動オリエンテーション(富山大学教授)(1年普通科) 地域課題講座(黒部市総合計画担当職員)(1年普通科) 教育クラウド利活用講習会(外部講師)(教員)
	6月	地域課題ワークショップ(黒部市企業等講師7名)(1年普通科)
	7月	地域課題研究推進・フィールドワーク(～8月)(1年普通科)
	8月	外部団体が主催する教員研修セミナーへのオンライン参加(教員)(～3月)
	9月	
	10月	地元企業等訪問(新川地区7事業所)の実施(2年普通科) 校内互見授業の実施、校内研究協議会の実施(教員) 教育クラウド利活用講習会(教員)
	11月	1年普通科探究活動ポスター展示(黒部市内ショッピングセンター、校舎内、保護者会時等)(～3月) 大学訪問(教員) 専門家による地域課題解決ワークショップの実施(3年生活環境科)
	12月	研修旅行(東海方面)(2年全学科)
	1月	取組のまとめ(1～3年全学科)
	2月	課題研究発表会(3年土木科・生活環境科) 総合的な探究の時間発表会(1年普通科)
	3月	

